

THE ランキング、国際性の分野で 12 位と評価された 本学のグローバル人材教育の中身

本学はイギリスの高等教育情報誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(THE) を運営する TES Global 社の世界大学ランキング日本版で、国際性の分野にて全国 12 位の評価となりました。このランキングは、エントリーした日本国内の大学を、総合ランキングと分野別(教育リソース・教育満足度・教育成果・国際性)の 4 分野で評価するものです。その中の国際性は、昨年の外国人学生比率、外国人教員比率に、今年は日本人学生の留学比率と外国語で行われている講座の比率を加えた 4 種類のデータから、どれだけ国際的な教育環境になっているかを評価しています。

本学はそのような定量的比率だけでなく、教育の中身もすこぶる充実しています。下記に列挙した英語を使うアクティブ・ラーニングや PBL 型のプログラムに加え、最新の国際化に向けた取り組みとして、本学の iFloor (校舎あすなる 2F) に Center for English Communication(CEC)が設置されました。国際色豊かな 6 名の英語ネイティブ教員が、学生の英語コミュニケーション力のアップを徹底的にサポートします。

麗澤大学
学長 中山 理

麗澤大学のグローバル人材養成に向けたキャンパス内外での学生の活動

- iFloor : International Floor の略。校舎あすなるの 2 階にある iLounge と CEC、国際交流センターを含めたエリア。国際交流や言語習得に興味がある学生、また授業に関する質問などは iFloor で対応。
※iLounge(International Lounge) : 英語ネイティブが常駐し、英語以外の言語も随時イベントを展開し、会話のチャンス을設けている。
※CEC(Center for English Communication) : 英語ネイティブ教員のスタッフルームで、英会話指導、様々なイベントや勉強会も開催。
- 日本を知るための場、国際交流の場となる課外活動 :
「きもの・お作法の会」は浴衣や振袖などの着付けの技術と、美しい立ち振る舞いや所作、日本文化などを学ぶ。茶道部、箏曲部、空手部、弓道部、剣道部など日本文化を学べる課外活動がある。
- 英語劇グループ : ネイティブの顧問が、英語で発音から演技指導まで徹底して教える。
- 模擬国連団体 : 世界中の大学が参加する国連を模した会議を行う団体。数人 1 組が 1 国の代表となり、外交戦略をたてながら他国の代表と英語による討議・交渉を繰り返し、合意を形成していく。
- ASPIRE Reitaku : 国連と世界の大学とも結ぶパートナーシップ団体で、学生同士で斬新な改革を協議する。この活動を通して学生は「世界が抱える諸問題の解決にどのようにしたら貢献できるか」を模索。
- ホスピタリ Tee プロジェクト : “Need Help? I Can Help!” と書かれた T シャツを着て、観光地で外国人観光客に外国語で声をかけてサポートするボランティア活動。

詳細は、こちらをご覧ください。

▼Reitaku Journal~麗澤人が語るリアルストーリー~ <http://www.reitaku-u.ac.jp/journal/>

▼大学公式 HP <http://www.reitaku-u.ac.jp/>

